

草津市の医療福祉を考える会議の進展と目標

「共感を広げる」とは、高齢者の暮らしの問題を我が事のように捉えるように全住民に周知を図ることです。このことは、活動者の担い手の確保に大きく影響します。

また、我が事と捉えることにより、活動によりきめ細やかな深みを持ち、社会全体が住民同士で支え合う風土の構築を目的としています。

一方で、共感の輪が広がりつつある中で、活動への一歩が進まず、生活支援コーディネーター・地域包括支援センター・行政の意識の統一と連携強化が求められています。

- 市社協は、支え合い活動を支援します。
- 地域包括は、高齢者の暮らしの問題を整理し、解りやすく住民に伝えます。
- 市は、生活を支援するための基盤を強化します。

